



GT Grow Tech

presents

RIKU SOCCER CLINIC

実施報告書

**ONE
CLIP**

開催
趣旨

夢を叶えた地・仙台で、 目標に向かって 努力する楽しさを 伝える。

梅田陸空のプロへの道のりは、決して平坦なものではありませんでした。幼い頃からサッカーに夢中でしたが、Jクラブのユース出身ではなく、高校1年生のときにフォワードからゴールキーパーへとポジションを変更。大学サッカーを経て、努力を重ねながらついにプロの世界へと辿り着きました。

—「ヒーローになる」—

梅田の原動力であるこの目標まではまだ道の途中ではありますが、自身の経験を通して、夢を追いかける子どもたちに“努力することの楽しさ”と“挑戦を恐れない気持ち”を伝えていきたいと思います。

実施概要



主催 : ONE CLIP 株式会社

後援 : 一般社団法人 宮城県サッカー協会

発起人 : 梅田陸空 (開催時 : ベガルタ仙台 / 現在 : FC琉球OKINAWA)

ゲスト : 平瀬智行氏 (元ベガルタ仙台 / 元サッカー日本代表)

対象 : 宮城県在住のサッカー少年少女 合計約120名

会場 : アイリストレーニングフィールド

日程 : 2025年12月26日(金)

内容 : 13:00～開会式

13:20～ウォーミングアップ、トレーニング開始

15:00～閉会式

参加費 : 無料

GKの楽しさを体験するウォーミングアップ

Jリーグでプロのゴールキーパーとして活躍する梅田は、普段なかなか自チームでキーパー練習を行う機会が少ない子どもたちに向けて、キーパーの動きを取り入れたウォーミングアップを実施しました。

キーパーは手も使う、サッカーの中でも特別なポジションです。全身を大きく動かしながら、ジャンピングキックや手を使った投げでのボール交換など、普段の練習ではなかなか行わない動きを取り入れ、身体をしっかりと温めていきました。

今回の練習会場は、ベガルタ仙台のトップチームも使用する整備の行き届いた天然芝のグラウンド。転んだりしても痛くならない環境の中で、安心して、思いきり身体を動かすことができました。

アップを通して、少しでもGKというポジションに興味を持ってもらうこと、そして「サッカーにはさまざまなポジションがあり、それぞれに楽しさがある」ということを感じてもらえたら、そんな想いを込めて、梅田も子どもたちと一緒に、笑顔でウォーミングアップに参加していました。



写真：子どもの目線に立ち、常に寄り添った指導をする梅田



写真：梅田も子どもたちと一緒に練習に参加、近い距離でアドバイスを行った

強いキックは1日にしてならず。

努力を重ね、積み上げていく。



写真：強いキックの蹴り方を解説する平瀬氏

キックは努力の積み重ねでうまくなる！

本イベントでは、事前に参加者に対し、梅田、平瀬氏に教わりたいことをアンケートで聞いていました。その中で最も多く寄せられた声が、「強いキックの蹴り方」でした。これはジュニア年代の子どもたちに通ずる悩みであり、まだ十分に筋肉が発達していない時期の子どもたちにとって、「強いキックがなかなか蹴れない」という課題は多く見られます。

梅田はゴールキック、平瀬氏は強いシュートを武器とするなど、2人ともキックを得意とする選手であることから、今回この悩みに対して重点的に指導を行うこととなりました。

練習の冒頭で平瀬氏から語られたのは、「急に強いキックが蹴れるようにはならない。キックはたくさん基礎練習をして、自主練習も重ね、努力を重ねた人が強くなる。」この言葉を通して、

努力し、少しずつ成果を実感していくことの大切さや、その過程を楽しむことについても伝えていきました。

実際の練習では、ボールに足のどこを当てるのか、身体をどのように使うのかといったポイントを丁寧にアドバイス。自宅でも取り組める練習メ

ニューを中心に、梅田も身振りを交えながら、分かりやすく指導を行っていました。



写真：梅田のアドバイスを聞く参加者



シュートをFWとGK、 両方の視点から学びチャレンジする。

FWとGKの両視点で シュートを考える！

次は3対2+GKというオフエンスが優位な状況を設定した実践的なトレーニングを実施しました。

多くのシュートチャンスが生まれる中、まずは日本代表のエースとしても活躍した平瀬氏が、シュートのコツを指導。コースの狙い方について実践的なアドバイスをしました。

続いて、梅田がGK目線の指導を担当。「GKがどこにシュートを打たれるのが嫌なのか」「どのような状況でパスを選択されると対応が難しいのか」など、GKならではの視点からアドバイスしました。

全員がGKにも挑戦することで、多角的な視点でサッカーを考え、チャレンジと失敗を繰り返しながら成功を目指す。普段ではなかなか学ぶことのできない特別なシュートトレーニングとなりました。



大人も子どもも、 サッカーを純粹に楽しむ =ファンサッカー

トレーニングの最後は梅田、平瀬氏、スポンサーの皆様で「梅田チーム」を結成し、グループ分けした子どもチームと試合を行いました。

Jリーグトッププレイヤーのプレーを間近に感じながら、トレーニングで学んだことを実践の中で活かし、大人相手にも果敢に挑んでいく子どもたちの姿を見ることが出来ました。

学びの中にも笑顔溢れる瞬間がたくさんあり、「サッカーは楽しい」と子どもだけでなく、大人も一緒に改めて感じることでできる時間となりました。



ギャラリー ①



ギャラリー ②



ギャラリー ③



ギャラリー ④



ギャラリー ⑤

